

## 患者さんへ

# 「泌尿生殖器系悪性腫瘍における骨転移症例の予後予測スコアリングモデルの構築」について

### 1. はじめに

調査研究とは日常診療で患者さんに服用（使用）されている薬の、副作用の発生状況や有効性（薬の効き目）、安全性などを把握し、よりよい薬の使い方について検討したり、新しい治療方法の検討をおこなうために、患者さんの診療情報を収集し検討したりすることです。今回の研究は、医師が自主的に有効性、安全性などを把握するために行う調査研究です。

### 2. 研究について

- 対象：2000年1月～2017年4月の間に骨転移と診断された泌尿器科癌の患者さん。
- 目的：危険度予測システムを作成し、それを用いて将来の骨転移を有する泌尿器科癌の治療方針の決定に役立てることを目的としています。
- 方法：患者さんの診療記録より骨転移時年齢・性別・疾患、疾患に対する治療・骨転移部位・多発骨折・骨転移に対する治療内容および経過・一般血液検査結果を抽出し、新たな予後予測システムを開発する予定です。
- 研究予定期間：2022年3月までを予定しています。
- 研究組織：この研究は奈良県立医科大学が主体とした多施設共同研究です。

### 3. プライバシーの保護

この研究で得られた情報を取りまとめるために、当院以外の機関にあなたの情報を提供しますが、あなたを特定できる情報は記載しません。また、この研究結果は学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、個人が特定できないように配慮され、あなたのお名前や住所などが明らかになるようなことはありません。

### 4. 研究への参加について

骨転移と診断された泌尿器科癌の患者さんが対象になっています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく責任医師にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

### 5. 研究資料・情報の保管と廃棄

この研究で収集された診療情報については、結果公表の5年後まで保管されます。5年経過した時点で適切な方法で廃棄・削除します。

### 6. 研究から生じる知的財産の帰属について

今回の研究の結果、新しい成果が見つかった場合には知的財産が生じる場合があります。その場合の権利は研究機関及び研究遂行者に所属することになります。

### 7. 担当医師への連絡

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく担当医師に申し出てください。

担当診療科： 星ヶ丘医療センター 泌尿器科

担当医師名： 松本 吉弘

連絡先電話番号： 072-840-2641

